

御神輿渡御祭の行列の順序

1. 前駆 佐野本家
2. 六尺棒持
3. 太鼓
4. 笛
5. 立花
6. 警固
7. 御幡
8. 前衛
9. 御柵
10. 杜天
11. 御弓
12. 神鏝(三方)
13. 御太刀
14. 御幣
15. 金幣
16. 禰宜
17. 駕輿丁長
18. 御神輿 駕輿丁(神人役者)
19. 宮司
20. 区長
21. 侍衛
22. 氏子総代
23. 供奉氏子
24. 後衛



古町のまつりの歴史

廣瀬神社の歴史

廣瀬神社は建久元年(1190年)伊南郷の領主河原田近江守盛光公が子孫の武運長久と領民の繁栄を祈念し始めたことされている。古町村の鬼門にあたる宮ノ沢に社を建立し、和賀宇賀能売神をお祀りし、羽黒山大権現と称し、代々古町の鎮守として祀り継がれている。

御神輿渡御のはじまり

御神輿渡御祭は天和元年(1681年)旧8月1日(9月9日)時の郷頭佐野外記盛常が京都の祇園祭の形式を取り入れて実施したのが始まりと言われ、極めて古式ゆめかしく南会津郡内の二大祭礼の一つとなっている。

町指定重要無形民俗文化財

昭和57年8月31日指定
運宮団体
廣瀬神社・氏子総代・古町区

廣瀬神社例大祭

- 午前5時30分 法螺貝吹奏・砂盛
- 午前6時30分 氏子・廣瀬神社集台
- 午前7時 神事開始
- 午前7時30分 御神輿渡御 廣瀬神社出発
- 午前11時30分 御中廻り 御旅所出発
- 午後4時30分 還御行列 御旅所出発
- 午後6時 還御神事終了

※行列の時間は目安です。



伝統文化を継承するため、地域の小中学生行列参加サポートを行っています。



昭和36年頃の行列の様子



御神輿渡御順路図

祭礼当日は、廣瀬神社内および参道は、祭礼関係者以外の立入を禁止します。

- 御神輿渡御 (廣瀬神社→御旅所)
- 御中廻り (御旅所→御旅所)
- 還御行列 (御旅所→廣瀬神社)

仮設トイレ
仮設駐車場

廣瀬神社例大祭

(9月第2土曜日)



午前5時30分 法螺貝吹奏・砂盛
行列が進む通路には白砂が地域住民の手により盛られ(清め砂)、法螺貝の音を合図に氏子が「廣瀬神社」へ行く準備をする。



午前6時30分 氏子・廣瀬神社集合
山腹の「廣瀬神社」に、氏子が袴・素草鞋姿で参集する。



午前7時 神事開始
本殿にて宮司が祝詞奉上的のち御神体を御神輿に御移しする。



午前7時30分御神輿渡御 廣瀬神社出発
「廣瀬神社」より御神輿渡御が行列の順序に従い氏子がお供につき、笛・太鼓の音と共に行列が御旅所へと静々と進み、「御旅所」に到着され宮司が祝詞奉上的。



午前11時30分 御中廻り 御旅所出発
御神輿を肩に街中を巡行する。立花(家内安全、田畑の害虫除けと言われている)を競って奪い合い、縁起物として家に持ち帰る。



午後4時30分 還御行列 御旅所出発
夕刻になると氏子 hands 提灯を持ち「御旅所」へと集まり、「オーサーヤリカケロー」と声を上げ、「廣瀬神社」へと行列が進む。